

企業づくり、地域づくり、基盤づくりを推進



静岡商工会議所
会頭

後藤康雄

はごろもフーズ(株)
代表取締役会長

このたび、皆様方の温かいご推挙によりまして、引き続き静岡商工会議所会頭に就任いたしました後藤でございます。

地域経済や中小企業にとっては厳しい経済環境が続く中、地域最大の経済団体である商工会議所に課せられた使命は大きく、私なりに熟慮を重ねましたが、現在取り組んでいます家康公四百年祭の成功、また会員満足度日本一の商工会議所を目指すため、皆様方のご支援を賜りながら、引き続き会頭職をお引き受けすることを決断させていただきました。会頭に選任いただきましては身に余る光栄であるとともに、その責務の重さを痛感している次第であります。

皆様ご承知のとおり、当地域は首都圏と中京近畿圏の巨大市場の中間に位置する好立地であり、また静岡空港や清水港に加え、新東名高速道路の開通や中部横断自動車道の整備が進み、陸・海空が揃った大変交通利便性が高い地域であります。

また、久能山東照宮や浅間神社をはじめとする歴史文化施設や日本平などの景観資源、お茶やマグロなどの食文化、徳川家康公やちびまる子ちゃんといった文化的資源など、静岡市には豊富な地域資源がありますが、その中でも今年6月には「三保の松原」が富士山世界文化遺産の構成資産となり、今後の観光誘客への期待も高まっております。

こうした静岡市の恵まれた環境や資源といった強みを生かし、当地域の活性化に寄与してまい



所存ですので、改めて皆様方のご支援をお願い申し上げます。

さて、最近のわが国経済は、日本経済再生に向けた緊急経済対策等による円安や株高効果により、景気は着実に持ち直しの動きを見せてまいりましたが、地域経済や中小規模の企業にはまだその効果が及んでいない状況です。円安に伴う燃料費や原材料価格の高騰などが企業の経営を圧迫しているほか、消費税率の引き上げによる消費低迷が懸念されており、地域企業の経営は依然として厳しい環境下にあります。

こうした中、当会議所では、「企業づくり」「地域づくり」「基盤づくり」の3本を主要テーマとした第1次中期行動計画の最終年度を迎えております。

「企業づくり」としましては、創造力やチャレンジ意欲がある企業の育成・支援に力を入れており、創業や経営革新支援、また経営改善や事業承継の支援など、地域企業が抱える様々な課題に対し、ワンストップで相談できるサポート体制の強化を図っております。

「地域づくり」といたしましては、静岡清水両地区の特性を活かした夢と魅力あるまちづくりに取り組みながら、2015年の家康公四百年祭を、その起爆剤として成功に導きたいと思っております。

そして、「基盤づくり」といたしましては、計画のタイトル「テイク・オフ13」に示したとおり、今年度末13,000会員を目指した加入促進運動を展開し、会員数の拡大に取り組んでおります。合併当初は全国で10番目の会員数でしたが、昨年度末では全国第7位となりました。会員規模や他団体との連携体制によるスケール拡大により、財政基盤の充実と併せて対外的な情報発信や行政等への働きかけなど、当会議所のアピール力の強化を図っているところです。

来年度からスタートする第2次中期行動計画におきましても、当会議所の3つの合言葉「①会員第一」「②明るくさわやか」「③有言実行」のもと、「企業づくり」「地域づくり」「基盤づくり」の3本のテーマに基づき、より充実した機能と質の高いサービスを提供することにより、一人でも多くの会員の皆様に会員メリットを享受していただき、会員満足度日本一の商工会議所を実現してまいります。

結びに、会員の皆様には、改めまして一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、会頭就任のご挨拶とさせていただきます。